



令和4年度 学校だより

北醍醐9月号



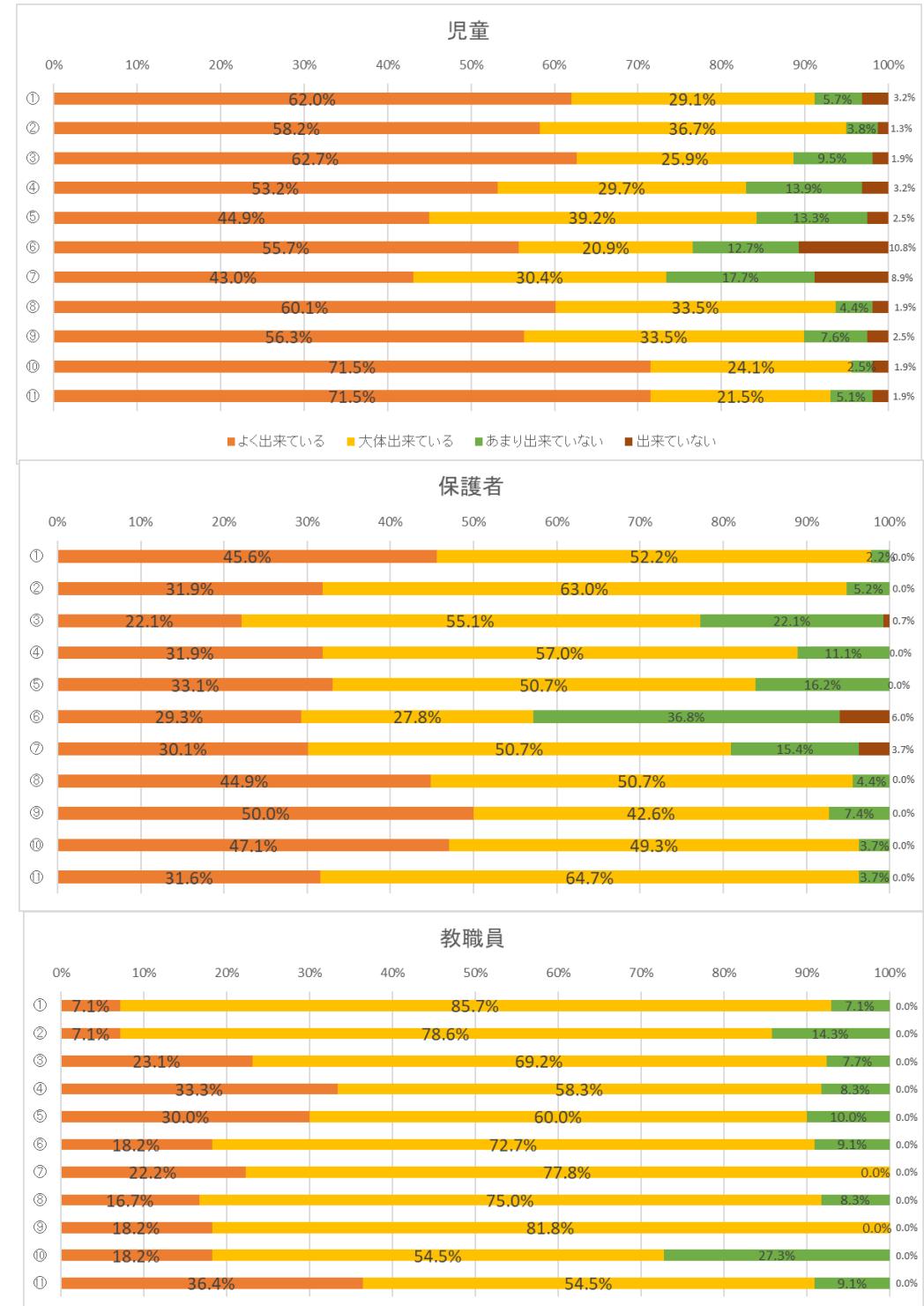
令和4年9月1日
京都市立北醍醐小学校
校長 山本 太郎
TEL : 075-572-5353

<学校評価アンケート結果特別号>

令和4年度第1回「学校評価アンケート」にご協力いただきありがとうございます。
結果をご報告いたします。

児童、保護者、教職員へのアンケート11項目を集計し、「よくできている」「大体できている」を合わせて実現度として示させていただきます。

R4 第1回「学校評価アンケート」結果					
児童	実現度	保護者	実現度	教職員	実現度
①学校に行くのは楽しい。	91.1%	①お子さんは、安心して楽しく学校に通っている。	97.8%	①「目指す子ども像」を意識して取り組み、児童が安心して活動できるよう教育活動を進めている。	92.9%
②友だちにやさしくし、仲よく学習したり活動したりしている。	94.9%	②お子さんは、友だちにやさしくし、互いに気もちよく関わり、仲よく学校生活を送っている。	94.8%	②互いを大切にする子どもの育成を目指し、「～さんで呼ぶ」「正しい言葉遣い」等を指導し、児童の身についてきている。	85.7%
③自分からあいさつしている。	88.6%	③お子さんは、家や地域で進んであいさつしている。	77.2%	③進んで挨拶するような指導や褒める評価をし、子どもは意欲的に活動するようになってきている。	92.3%
④困ったときや分からないときは、先生に相談している。	82.9%	④学校は、子どもについて気軽に相談でき、適切に応じてくれる。	88.9%	④子どもや保護者の相談に適切に応じられている。	91.7%
⑤授業では、めあてを意識して学習し、わかったこと、わからなかったことをふりかえっている。	84.2%	⑤お子さんからは、授業で積極的に学ぼうとする様子がうかがえる。	83.8%	⑤ねらいを明確にし、教える事と児童が主体的に活動する事を計画し、児童の身についてきている。	90.0%
⑥学校や家で、自分から読書している。	76.6%	⑥お子さんは、読書に親しんでいる。	57.1%	⑥読書や図書の活用を意図的に指導し、児童自らが進んで読書活動をするようになってきている。	90.9%
⑦家で学年に合った家庭学習をしている。(1年生15分、2年生30分、3年生45分、4年生60分、5・6年生60分～90分)	73.4%	⑦お子さんは、「15分×学年(5・6年生は60分～90分)」の家庭学習(宿題)の習慣が身についている。	80.9%	⑦授業と家庭学習を連動させた課題や、読書活動を位置づけた家庭学習の充実に取り組んでいる。	100.0%
⑧学校のきまりや交通のルールを守っている。	93.7%	⑧お子さんは、学校のきまりや安全のルールを意識し、守っている。	95.6%	⑧きまりや安全のルールを守ることが行動化され、児童に定着してきている。	91.7%
⑨毎日、決まった時間に早起きをし、顔をあらって歯みがきをし、朝ごはんを食べて登校している。	89.9%	⑨お子さんは、十分な睡眠をとり、早起き、洗顔、歯みがきをし、朝ごはんを食べなど基本的な生活習慣が身についている。	92.6%	⑨基本的習慣や自らの健康・命を守る意識の高揚と行動化に取り組み、児童の身についてきている。	100.0%
⑩学校では、安全に気をつけて安心して活動している。	95.6%	⑩学校は、安全面における適切な配慮をしている。	96.3%	⑩ルール遵守や危険予測の指導を進め、自ら判断し適切に行動できる力や、社会的な規範意識の高揚に取り組み、児童に定着してきている。	72.7%
⑪下級生に優しく接することや、自分が上級生になっていくことを楽しみにしている。	93.0%	⑪お子さんは、下級生を大切にしたり、上級生と仲よくしたりしている。	96.3%	⑪児童は、縦割り活動を中心に関間を大切にしたり、下級生に優しくしたりしている。	90.9%



<アンケート結果から>

今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止対策を進めながらの新学期スタートとなりました。このような状況の中、学校生活や学習の形態は新しい生活様式に合わせて変化しています。子どもたちの学校生活も大きく変化してきている中ではあります、児童のアンケート結果を見てみると昨年度よりも上回っている項目が多くみられました。

たとえば「③自分からあいさつしている。」「④困ったときやわからないときなどは、先生に相談している。」「⑪下級生に優しく接することや、自分が上級生になっていくことを楽しみにしている。」などの項目の結果からは、コロナ禍で人間関係が希薄になってきているといった課題も見られる世の中ですが、相手の目を見てあいさつをする、困ったことがあれば助けを求めることができる、相手の立場に立って優しく寄り添うことができる、といったところから思いやりの心が溢れる北醍醐小学校の子どもたちの姿を見ることができます。

また、これまで課題点として挙げられてきた読書を問う項目でしたが、児童の項目である「⑥学校や家で自分から読書している。」では、昨年度よりも上回る結果が見られました。学校での読書の時間の確保や毎週金曜日の子うま文庫さんによる読み聞かせ、図書室の環境整理、教職員のおすすめの本紹介の取組など、読書への関心が高まる取組を継続してきた成果でもあります。引き続き、読書への興味関心が高まる取組や児童が主体的に活動を進めている委員会活動、いつでも本が手に取れる環境整備などの充実をさせていきたいと考えています。ご家庭におかれましても、それぞれの発達段階に応じた読書への興味づけや環境づくりをお願いいたします。

保護者の「④学校は、子どもについて気軽に相談でき、適切に応じてくれる。」の項目においては、88.9%の実現度が見られましたが、昨年度より下回る結果となりました。この結果を更に高めることは当然ですが、各学級では、子どもに寄り添い、子どもの声や様子に耳と心を傾け、子ども一人一人を徹底的に大切にする学級づくり、さらには学校づくりを再度、見つめ直す機会をいただきました。学校目標である「仲間と未来を創造し、自ら学ぶ子どもを育てる」ために、一人一人が大切にされる学校風土づくりを教職員一同、取り組んでまいります。



<自由記述欄より>（※紙面の都合上、いただいたご意見の一部を抜粋して掲載しています。）

【授業参観・懇談会の在り方について】

今年度は、コロナ感染症対策を行いながら4月に授業参観・懇談会、5月に土曜参観を実施いたしました。ただ、学年によっては、どうしても教室が密となることでご心配をおかけすることもあります。今後も保護者の方にはご迷惑をおかけしますが、感染状況を見ながらになりますが、いろいろな形での参観・懇談会を模索していきたいと思います。

【集団登校について】

集団登校については、毎年ご意見をいただいております。小規模の学校としては、できる限り異学年での交流や高学年のリーダーシップを發揮できる場を大切にしています。また、地域の方々の温かいご支援、保護者の方のご協力をいただき、安全に登校できるよう努力を続けています。一人一人が安全について考えることはもちろんのこと、これからもいろいろな視点から安全についてご支援いただきたいと考えています。

【放課後の見守りについて】

子ども達の下校については、大変ご心配をされている保護者の方がたくさんおられることは承知しております。学校としてもできるだけ同じ方向の人と帰ることや、危険なことがあれば近くの大人やお家の方にすぐに相談するように指導をしております。地域の方やPTA役員の皆様、保護者の皆様には、買い物や散歩等、家の外に出るタイミングができるだけ子ども達の帰る時刻に合わせていただきますよう、お願いしたいと思います。皆様と協力しながら子ども達の安全を確保していかなければと思います。

【GIGA端末の活用について】

タブレットの持ち帰りや感染症などで自宅待機となった時のオンライン授業についてご意見をいただきました。現在、5・6年生は端末の持ち帰りを行い、ミライシード（タブレットドリル）を使用しての個別学習に取り組んでいます。その他の学年についても2学期以降の持ち帰りを予定しています。ミライシード（タブレットドリル）を使用しながら、自分の苦手な問題にチャレンジすることや得意な分野を伸ばしていくような個別最適な学習を目指していきたいと思います。また、学級閉鎖や自宅待機となった児童には、端末を配布し、オンラインで担任からの指導や指示を行っています。教室での授業を自宅から端末で視聴することにつきましても、保護者の方とご相談のうえ効果的に進めていきたいと思います。（わからないことなどについての質問等は、授業後の対応となります。）

【放課後の図書室利用について】

放課後の図書室開放についてお声をいただきました。火、金については、図書支援の先生が図書室に常駐していますので5校時以降から15時45分まで図書室を利用できるようにいたします。この機会にたくさんの本を読んでください。